

雲林院源治（うんりん  
いん 源治 八八歳）。

雲林院氏は、独立行政  
法人森林総合研究所にお  
いて、一貫して木炭の物  
質や科学性の基礎研究に  
長年従事してきた。その  
木炭の効果や、改良に多  
大な成果を上げるととも  
に、後期は土壌改良等の  
農林業用木炭や木炭によ  
る畜産など公害の消臭、  
さらには、木炭による消  
雪など多目的木炭の試験  
や開発を推進してきた。

森林総合研究所退任後  
は、長年培った木炭の知  
識と技術を生かし、「財  
団法人林業科学技術振興  
所」主任研究員として、  
民間企業をはじめ、森林  
組合、厚生労働省等の要  
請を受けて木炭製炭の技  
術指導を行うとともに、  
「炭やきの会」（一九八  
五年四月一日発足）理  
事として、全国の炭焼き  
製炭者や研究機関、大学  
などに対して精力的に技  
術活動を行った。

海外へも東南アジア諸  
国やアフリカに赴き、炭  
焼き、木炭、木酢駅の利  
活用について指導を行う  
など、国内外において木  
炭等の普及発展に大きく  
貢献した。

また、「可搬型組立て  
敷炭化炉」等の開発につ  
いて、特許を取得するな

ど、常に試験・研究へ取  
り組む姿勢は、研究者の  
規範となるものであり、  
今後の活動についても幅  
広い関係者から期待され  
ている。

#### 【履歴概要】

▽独立行政法人森林総  
合研究所（昭和二二年一  
〇月一〇日から平成元年  
三月三十一日）

▽財団法人林業科学技  
術振興所・主任研究員

（平成元年四月一日から  
平成二二年三月三十一日）

▽炭やきの会理事（平  
成元年四月一日から現在  
に至る）

▽生年月日 昭和四年  
二月四日生まれ。